



ネジキ

この木は、アカマツの二次林や日当たりのよい尾根筋などに生える落葉低木だが、幹が成長するとほとんど左巻きでねじれてくることから、「ネジキ」となったと言われ、その為材としての利用は少なかったようだ。一度見ると大変印象に残る木だ。アセビと近縁種の有毒植物でツツジ科。

この木はほかにも、不思議な事が多い。5～6月頃になると、枝全体が白く見えるほど壺形の白い花が下向きに沢山一列に並んで咲くが、このことは案外知られていない。そして下向きに咲いた花が散ると、今度は花柄が上向きになり、果実が上向きに付く。また、冬には葉を落とすが若い枝(一年枝)や冬芽は、赤くて光沢もあり美しいので、冬の雑木林の中では、ひときわ目立った存在になる。この赤くて美しい枝は、小正月にだんご等繭玉をさして飾る地方があるし、冬の生け花の花材としてもよく利用される。

この写真からも興味あることがわかる。7～8本萌芽した幹が太くなっているが、これは以前に薪炭材として利用された証である。

昭和30年代までは、薪炭林として利用されていた里山では、このような萌芽更新による森林再生が普通であった。身近な雑木林でも多くの不思議や驚きがあるので、是非、散策を楽しんでいただきたい。

京都森林インストラクター会
水口 征親(文・写真とも)

写真は、いずれも衣笠山にて



冬芽

イベント参加者募集&助成金情報

森林づくり関連イベント等 参加者募集

参加者を募集している森林づくりイベント等をご紹介します。内容が変更になることがありますので、参加を希望される場合は、必ず主催団体にご確認ください。

京都府立
植物園

園長・副園長の
「園内ガイド」、
土曜ミニミニガイド

〈1〉園長・副園長の「園内ガイド」

園内の四季折々の草木について、長澤園長や西原副園長が開催月ごとに交代でご案内しながら解説します。植物観賞をさらに興味深く楽しんでいただけます。

- 日時：3月16日(日)、3月23日(日)
いずれも14時～14時45分頃
- 定員：先着30名
- 集合場所・時間：植物園会館前に14時

〈2〉土曜ミニミニガイド

技術課の職員が、その日の見ごろの植物をタイムリーに紹介して解説します。御来園いただいた価値を十分に感じて満足いただけます。

- 日時：毎週土曜日
13時～13時45分頃
- 定員：先着30名
- 集合場所・時間：植物園会館前に13時

参加費：無料(別途入園料必要 一般200円、高校生150円、中学生以下は無料)

問合先：京都府立植物園
(京都市左京区下鴨半木町)
TEL：075-701-0141

3月8日(土)

京都市

SAVE JAPAN プロジェクト
「森のエネルギーで作って食べよう !!」

オオムラサキなどの希少な生き物が住んでいる大原の里の森で、樹液が出たり花や実がなる在来の落葉広葉樹の植樹、間伐材や地元産食材を活用した野外調理、森の機能や大原の森の今後について考えるミニワークショップを行います。

- 集合場所と時間：江文神社に10時(受付は9時30分～) ●開催場所：江文神社および周辺の森
- 参加者：60名(申込先着順、小学4年生以下は要保護者同伴)
- 参加費：無料 ※昼食代も不要。アレルギーをお持ちの場合、事前にご相談ください。
- 申込締切日：3月1日(土)
- 申込方法：メール又はFAXでお名前・住所・ご連絡先を明記のうえ、下記までお知らせください。
お車でお越しの場合、車の台数をお教えてください。
NPO 法人きょうと NPO センター (担当：内田、岡本)
TEL：075-744-0944、FAX：075-744-0945、E-Mail：office@np-net.or.jp
- 実施団体：NPO 法人京都大原里づくり協会
協働団体：NPO 法人きょうと NPO センター、認定 NPO 法人日本 NPO センター
協賛：(株)損害保険ジャパン、日本興亜損保(株)
詳しくはHP「森のエネルギーで作って食べよう !!」で検索。

3月30日(日)

京都市

北山杉でマイ箸をつくろう

きれいな木肌の北山杉と青竹を使ったお箸をつくります。休憩をはさみながら京都の山と木のお話もします。親子さんどうぞご参加ください。

※(公社)国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド事業」

- 日時：3月30日(日) 13時30分～16時
- 場所：平成の京町家普及センター (平成の京町家モデル住宅展示場 KYOMO 内)
- 参加者：30名(申込先着順、小学3年生以下は要保護者同伴) ●参加費：無料
- 主催：(公社)京都モデルフォレスト協会
企画・運営：「京北の木で家をつくろう」ネットワーク 共催：京都市、京都市住宅供給公社
協力：京北森林組合、学校法人 京都建築学園 京都建築専門学校
- 申込方法：3月3日(月)～3月28日(金)(※土日祝を除く)の間に、下記申込先に電話又はFAX、E-Mail でお申し込みください。FAX・E-Mail の場合は、催し名、氏名、電話番号、参加人数及び小学生の場合は学年を明記してください。
「京北の木で家をつくろう」ネットワーク事務局(アークス建築事務所内)
TEL：075-467-9292、FAX：075-467-9293、E-Mail：keihokunoki@gaia.eonet.ne.jp

助成金情報

森林づくり活動や、団体運営に役立つ助成金情報をご紹介します。
申請される場合は、必ず事前に募集团体にご確認ください。

3/31
(月)
まで

宝酒造株式会社／タカラ・ハーモニストファンド助成事業

日本の緑を構成する森林等の陸域、または海、湖沼、河川等の水域の自然環境(生物の生態把握等も含む)に関する実践的な研究・活動に対して、助成を行います。

- 助成対象：次の条件を満たす実践的研究・活動。
 - (1)具体的に着手の段階にある研究・活動。
 - (2)営利を目的としない研究・活動。
 - (3)研究・活動主体の資格は問わないが、次の条件を満たすもの。
- 個人の場合：助成金の使途が助成の目的に沿って適確であり、当該事業に係わる施設の利用や助成金の使途等の面で特定の者に特別の利益を与えない者。
- 任意の団体の場合：助成金の使途が助成の目的に沿って適確であり、代表者または管理者の定めのある団体で、役員その他機関の構成、選任方法、その他事業の運営に重要な事項が、特定の者等の意志に従わずに運営されている団体。また、特定の者等に特別の利益を与えていない団体。
- 助成金額・期間
 - (1)助成金額はそれぞれの研究・活動の所要額。平成26年度の助成総額は500万円程度、助成件数は10件程度。
 - (2)助成期間は原則として助成金贈呈日より1年間とするが、2年間にわたって利用することも可。
- 助成金の使途：機材費、消耗品費、旅費、謝金等を含め、その内容を問わない。但し人件費および管理費等、間接経費は認めない。
- 応募方法：申請書様式をHPよりダウンロードいただくか、事務局にご請求いただき、必要事項を記入し、捺印のうえ事務局宛簡易書留で郵送してください。パソコンで申請書を作成された場合は、郵送分とは別にEメールでも電子ファイルを送信してください(送信先：kyoto-koueki@mizuho-tb.co.jp)。
詳細、申請書様式はHP「タカラ・ハーモニストファンド」で検索。
- 問合先：公益信託タカラ・ハーモニストファンド事務局
〒600-8006 京都市下京区四条通高倉東入立売中之町84
みずほ信託銀行株式会社 京都支店 営業2課(担当：明上、古儀)
TEL：075-211-6231 FAX：075-212-4915

緑の募金キャンペーン(春募金)を開始します

募金強化期間 3月1日～5月31日

緑の募金は、森林ボランティア等、府民参加の森林づくり、地域緑化や学校の緑づくり、緑化行事や緑化コンクール開催、緑の少年団活動支援ほか、東日本大震災の復興にも活用されています。

京都府では、法に基づき、当協会が知事の指定を受け、緑の募金を運営しています。皆様のご協力により、平成25年度は16,294,544円の募金が集まりました。御協力いただいた皆様、ありがとうございました。

新たに平成26年度の春の募金強化期間が3月1日から始まります。ぜひ御協力ください。

「緑の募金」は、例えばこのような活動に使われました。



里山再生のためのドングリの採取、苗木づくり(平成25年10月20日実施、京都・薪ストーブ友の会(京都市))



里地における獣害の軽減を目指し、山奥に実のなる木を植樹(平成25年11月24日実施、与保呂生産森林組合・与保呂染しい村づくり推進委員会(舞鶴市))

地域植樹祭開催 258,213

ポスター募集 834,379

推進事務費 452,606

森林整備 2,212,901

中央交付金 1,325,000

募金資材 1,325,470

緑の少年団等育成 1,236,501

募金活動推進 499,987

平成24年度
緑の募金
事業内訳
16,514,701
(単位:円)

地域緑化 5,064,746

学校緑化 2,088,570

平成24年度 緑の募金
事業内訳

緑化啓発活動 1,216,328

「緑の募金」への御協力方法

〈1〉募金の振替・振込

下記によりお振込ください。

- 郵便振替 00990-1-83253
公益社団法人
京都モデルフォレスト協会
- 銀行振込 京都銀行府庁出張所
普通 3154305
公益社団法人
京都モデルフォレスト協会
理事長 柏原 康夫

〈2〉募金箱の設置

多くの方々に募金の機会を提供でき、社会貢献のアピールにもなります。募金箱の設置に御協力いただける店舗や事業所等を募集しています。詳しくは、当協会あて御連絡ください(本誌4頁下参照)。



〈3〉独自の募金メニュー

企業等の皆様には、寄附型自動販売機の設置による募金・社員食堂での「募金ランチ」により売上の一部を募金・商品の売上に応じた募金などの取り組みで御協力をいただいています。このような御協力をいただける場合は、当協会あて御連絡ください(本誌4頁下参照)。

(公社)国土緑化推進機構 緑の募金公募事業のお知らせ

申込締切 平成26年3月31日(月)

国土緑化推進機構が、森林ボランティア団体等を対象に、以下の助成事業を公募しています。ご活用ください。

(1)一般公募事業

(国内または海外で行う森林整備及び緑化推進活動)

● 交付金額 一事業につき300万円を限度

● 事業実施期間

平成26年7月1日～平成27年6月30日の1年間

(2)特定公募事業

(国民参加による災害に強い森林づくり事業)

● 交付金額 標準事業費200万円(最大300万円)以内

● 事業実施期間

平成26年7月1日～平成27年6月30日の1年間

詳しくはHP「国土緑化推進機構 緑の募金公募事業」で検索

もり 森林に生かされる人々

チーム以森伝心は、京都モデルフォレスト運動を推進し、京都の森林づくり活動を広げていくためのサポータークラブです。今号では、森林からの恩恵を受け、森林とともに生活している人々を訪れ、その生業や暮らしを紹介する「森林に生かされる人々」をお届けします。



「人と人、人と身近な自然を繋いでいきたい」

深町 加津枝さん（京都大学大学院 准教授）

深町さんは、関東平野が広がる埼玉県行田市で、大工の父と植物好きの母、農業を営む祖父母のもと、田んぼや雑木林で遊びながら育ちまし

た。高度成長期に周辺の自然が宅地開発や圃場整備で失われていく中、「身近にある自然が大事にされる道がないのだろうか」と思ってきました。

そのような思いから大学院で農学を学び、森林総合研究所に勤務することに。京都に転勤し、関東とは違い身近に山々があると感じます。その後、湖西線の車中からの眺めが良かった滋賀県大津市に移住し、地域の人たちが昔から使ってきた森や湖に関わりたという思いを同じくする人々と出会い、1997年に「やぶこぎ探検隊」を設立。地元の人を講師に、森を案内してもらったり、丹生ダムの建設予定地を歩いたり、耕作さ

れなくなった田んぼで落ち葉を使って野菜を作るなどの活動を始めました。山を貸してくれる地元の人との繋がりや、やぶこぎ探検隊の拠点ができ、その後琵琶湖再生に取り組む団体等とも繋がりができました。今は森で得られた薪を薪ストーブに利用する活動に取り組んでいます。

綾部市古屋のトチノキ調査にて



「現場に入って地域の人たちの話を聴き、実感し、確信を持てることを大事にしたい。環境に配慮した農業は河川環境を守るなど、現場に入ると森から畑、河川、琵琶湖へと続く自然の繋がりを感じることが出来る。都会には農業を始めたいと思う若い人が、地元では若い人を受け入れたいと思っている人がいる。何気ない日常の中で、人と人、人と身近な自然、生活と研究を緩やかに繋いでいきたい」と話します。現在は京都大学大学院地球環境学で准教授として勤務していますが、講義では可能な限り学生たちと共に現場で過ごします。現場での学びは学生から好評です。

企業等が行う森林づくりに対しては、「森林づくり活動は素晴らしいが、例えば『水源の森』という表現に見られるように、森がパターン化されている。間伐や植樹の次のステップとして、落ち葉や薪の使われ方など、それぞれの森がどういう形でその地域に関わってきたのか、地域の暮らしや歴史、文化などに目を向けていくと良いのではないかと。また活動が長く続くには一人一人が「楽しい」と思えることが大切」というアドバイスをいただきました。

現場を大切に、丁寧に地域の人たちと信頼関係をつくっていく深町さん。肩の力の抜けた、様々な繋がりを大切にする温かい眼差しが印象的でした。

（西本雅則）



丹後半島山間部の初春の里山とともに

事務局からのお知らせ

活動報告

- 1月23日（木） ケベック木材製品輸出振興会と「森林環境保全等に関する覚書」を締結しました。

今後の予定

- 3月3日（月）「森林・林業・木材産業京都会議」を開催します（以森伝心第28号参照）。
- 3月30日（日）「北山杉でマイ箸をつくろう」を開催します（本誌2頁参照）。いずれも、皆様のご参加をお待ちしています。

発行：公益社団法人 京都モデルフォレスト協会

入会案内資料をご希望の方は、ご連絡ください。

〒604-8424 京都市中京区西ノ京樋ノ口町123 京都府林業会館3階（住所が新しくなりました。）

TEL & FAX 075-823-0170 E-mail kyomori@kyoto-modelforest.jp URL <http://www.kyoto-modelforest.jp>

2014年2月発行

デザイン：自然堂（じねんどう）株式会社